

【基礎助産学Ⅰ】

目標Ⅰ. 助産の考え方、対象の特性および助産活動を行うために必要な基本的な知識の理解を問う。

大項目	中項目	小項目
1. 助産の概念	A. 助産の意義	
	B. 助産の定義	a. 世界保健機関〈WHO〉
		b. 国際助産師連盟〈ICM〉
	C. 助産師と倫理	a. 助産師の職業倫理
D. 助産援助の展開	a. 診断に基づいた援助	
	b. 正常な経過への援助	
	c. 問題解決への援助	
2. 性・生殖と人権	A. 女性の性、生殖の基本的な概念	a. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ
	B. 基本的人権とインフォームドコンセント	a. 対象の権利の尊重
b. インフォームドコンセント		
c. 多文化への理解		
3. 生命倫理	A. 性と生殖における倫理・クライアントの意思決定と擁護	a. 助産師業務と生命倫理
		b. 母体保護
		c. 出生前診断
		d. 不妊治療
		e. 予後不良児
4. 助産の変遷	A. 母子保健の変遷	a. 日本
		b. 諸外国
	B. 助産の変遷	a. 日本
		b. 諸外国
5. 助産の教育	A. 助産の教育	a. 日本
		b. 諸外国

目標Ⅱ. 女性のライフサイクルを通じた性と生殖の健康問題、性と生殖に関連する疾患および異常に関する基礎的な知識の理解力を問う。

大項目	中項目	小項目
6. 女性のライフサイクル各期における健康課題	A. 女性のライフサイクルにおける身体変化の特徴	a. 思春期女性の二次性徴
		b. 成熟期女性の妊娠・出産準備
		c. 更年期女性の卵巣機能低下
		d. 老年期女性の加齢
	B. 女性のライフサイクル各期における心理社会的課題	a. 思春期女性
		b. 結婚・妊娠・出産・育児期の女性
		c. 更年期女性
		d. 老年期女性
	C. 家族のライフサイクル	a. 家族の機能と役割
		b. 家族の発達課題
	D. 母性・父性と親性の発達	a. 母性
		b. 父性
		c. 親性
	E. 性役割とジェンダー	a. 性差とジェンダー
		b. ジェンダーアイデンティティ
c. ジェンダーステレオタイプ		
7. 性と性行動	A. 性	a. 性とセクシュアリティ
		b. 発達段階とセクシュアリティ
	B. 性行動	a. 性行動の生理と心理
		b. 性反応
		c. 性機能の分類・障害・治療
		d. 性感染症
8. 母子の健康に影響を及ぼす因子	A. 栄養	a. 栄養状態の評価法
		b. 栄養所要量
		c. 食生活習慣
		d. 有害物質の摂取
		e. 成人病胎児期発症説
	B. 物理・化学的環境	a. 放射線
		b. 電磁波
		c. 粉塵
		d. 環境汚染物質
		e. 騒音

大項目	中項目	小項目	
	C. 嗜好	a. 喫煙	
		b. 飲酒	
	D. 薬物	a. 薬物の催奇形性	
		b. 薬物乱用	
		c. 分娩時使用薬物のリスク	
9. 性と生殖の形態・機能	A. 発生と形態	a. 染色体と遺伝子	
		b. 減数分裂	
		c. 遺伝の法則	
		d. 精子形成・卵子形成の過程	
		e. 性分化	
	B. 男性生殖器の構造と機能	a. 男性生殖器の構造	
		b. 男性生殖器の機能	
	C. 女性生殖器の構造と機能	a. 女性生殖器の構造	
		b. 女性生殖器の機能	
	D. 性周期と調節機序	a. 中枢神経系と性機能調節	
		b. 卵巣機能、卵胞発育とその機能	
		c. 子宮内膜	
		d. 月経	
		e. 子宮頸部、腔、外陰部	
		f. 性周期が心身に及ぼす影響	
	10. 性と生殖に関連する薬物	A. 思春期、成熟期、更年期と薬物	a. 経口避妊薬
			b. 排卵誘発剤
			c. 性ホルモン剤
		B. 妊娠・分娩・産褥期と薬物	a. 薬物の催奇形性
b. 薬物の胎盤通過性			
c. 子宮収縮剤			
d. 薬物の母乳移行			
e. 乳汁分泌に影響する薬物			
f. 救命処置のための薬物			
11. 先天異常		A. 常染色体異常	a. Down 症候群
			b. 18 Trisomy
	c. 13 Trisomy		
	B. 性染色体異常	a. Klinefelter 症候群	
		b. Turner 症候群	

大項目	中項目	小項目
	C. 遺伝子疾患	a. 常染色体優性遺伝
		b. 常染色体劣性遺伝
		c. 伴性劣性遺伝
	D. 胎内感染症	a. 風疹
		b. サイトメガロウイルス感染症
		c. トキソプラズマ感染症
		d. 梅毒
	12. ライフサイクル各期に起こる主な疾患	A. 小児期の疾患
b. 性分化異常（真性半陰陽、仮性半陰陽）		
c. 感染症		
d. 外性器の外傷		
e. 早発思春期		
B. 思春期の疾患		a. 月経異常
		b. 性器奇形
		c. 摂食障害
		d. 精神・心身医学的疾患
C. 成熟期の疾患		a. 月経異常
		b. 生殖器の感染症
		c. 生殖器の腫瘍
		d. 子宮内膜症
		e. 乳房疾患
D. 更年期の疾患		a. 月経異常
		b. 更年期障害
		c. 脂質異常症（高脂血症）、糖尿病
		d. 虚血性心疾患
		e. メタボリックシンドローム
		f. 更年期うつ
E. 老年期の疾患		a. 膣炎
		b. 性器脱・排尿障害
		c. 感覚器疾患
		d. 骨粗鬆症
	e. 感染症	
13. 性感染症	A. ウイルス感染症	a. 性器ヘルペス

大項目	中項目	小項目
		b. 尖圭コンジローマ
		c. サイトメガロウイルス感染症
		d. 伝染性単核球症
		e. 後天性免疫不全症候群<AIDS>
	B. 細菌感染症	a. 尿道炎
		b. 子宮頸管炎
		c. 膣周囲炎
		d. クラミジア感染症
		e. 淋菌感染症
		f. スピロヘータ感染症
	C. 真菌症	a. カンジダ症
	D. 原虫症	a. トリコモナス膣炎
	E. 寄生虫	a. 疥癬
	14. 不妊症	A. 女性側原因
b. 卵管の障害		
c. 子宮の障害		
d. 性行為障害		
B. 男性側原因		a. 精子形成障害
		b. 精管通過障害
		c. 性行為障害

【基礎助産学Ⅱ】

目標Ⅰ. 正常な妊娠・分娩・産褥経過と新生児、乳幼児の健康水準を診断するために必要な基礎的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目
1. 妊娠の成立・維持	A. 卵胞発育・排卵・造精とホルモン	
	B. 受精の機序	
	C. 着床の機序	
	D. 妊娠維持機構	
	E. 妊娠持続期間	

大項目	中項目	小項目
2. 胎児	A. 胎児の発育	a. 妊卵<胚>・胎芽・胎児
		b. 胎児の形態
	B. 臓器の成熟と器官形成（器官分化期または臨界期）	a. 感覚器系
		b. 呼吸器系
		c. 循環器系
		d. 消化器系
		e. 血液、造血器系
		f. 泌尿器・生殖器系
		g. 神経・運動器系
		h. 内分泌・代謝系
i. 免疫系		
3. 胎児付属物	A. 卵膜	
	B. 羊水	
	C. 臍帯	
	D. 胎盤	a. 胎盤の形態と機能
		b. 胎児－胎盤系循環
c. 物質の胎盤通過性		
4. 妊娠による母体の変化	A. 生殖器の変化	a. 子宮
		b. 膣
		c. 子宮付属器
		d. 外陰部
		e. 乳房
	B. 全身の変化	a. 内分泌系
		b. 呼吸器系
		c. 循環器系
		d. 消化器系
		e. 栄養、代謝
		f. 排泄
		g. 皮膚、粘膜
		h. 神経系
	i. 感覚器系	
	C. 免疫能の特性	a. 妊娠維持機構
		b. 胎児の免疫学的機能
		c. 母体－胎児間の免疫

大項目	中項目	小項目
5. 妊娠中の栄養	A. 母体栄養と胎児発育	a. 母体低栄養
		b. 母体過栄養・肥満
	B. 母体栄養と妊娠合併症	
6. 妊娠期の心理・社会的変化	A. 心理社会的特徴	a. 妊婦の心理
		b. パートナー・家族との関係性
		c. 母性意識の発達
7. 分娩の基礎	A. 分娩の定義	
	B. 分娩の種類	
	C. 分娩の三要素	a. 胎児およびその付属物
		b. 産道
c. 娩出力		
8. 正常分娩	A. 正常な分娩経過	a. 分娩の前兆
		b. 分娩開始
		c. 分娩経過と分娩所要時間
	B. 分娩の機序	a. 陣痛発来の機序
		b. 陣痛のメカニズム
		c. 軟産道開大の機序
		d. 破水
		e. 胎児の産道通過
		f. 胎盤の剥離と娩出
		g. 止血の機序
9. 分娩が母体および胎児に与える影響	A. 母体への影響	a. 循環
		b. 呼吸
		c. 体温
		d. 血液
		e. 泌尿器系
		f. 消化器系
		g. 内分泌系
	B. 胎児への影響	a. 胎児心拍の調節機序
		b. 胎児血酸塩基平衡と血糖値
		c. 児頭の応形機能
		d. 産瘤・頭血腫
	e. 気道圧迫	

大項目	中項目	小項目
		f. 胎児機能不全徴候
10. 分娩期の心理・社会的変化	A. 心理社会的特徴	a. 産婦の心理
		b. パートナー・家族との関係性
		c. パートナー・家族の心理
11. 産褥の経過	A. 復古の機序と経過	a. 性器の復古
		b. 全身の復古
	B. 乳汁分泌機序と経過	a. 乳房の形態・機能の変化
		b. 乳汁の産生と分泌
		c. 薬物の乳汁移行
12. 産褥期の心理・社会的変化	A. 心理・社会的特徴	a. 褥婦の心理
		b. 母親・父親役割の発達
		c. 産褥早期の親子関係
		d. 親と子の絆
		e. 家族関係
13. 新生児の生理	A. 身体的特徴	a. 体格
		b. 発育
		c. 成熟徴候
	B. 生理的特徴	a. 呼吸系
		b. 循環系
		c. 体温系
		d. 血液系
		e. 消化・吸収系
		f. 排泄系
		g. 代謝・内分泌系
		h. 神経系
		i. 免疫系
		j. 栄養系
		k. 皮膚系
		14. 新生児の行動
b. 哺乳		
c. 視力		
d. 聴力		
e. 味覚		
f. 行動評価		

大項目	中項目	小項目
15. 乳幼児の正常経過	A. 乳児期	a. 身体的特徴
		b. 生理的特徴
		c. 精神発達
		d. 食と栄養
	B. 幼児期	a. 身体的特徴
		b. 生理的特徴
		c. 精神発達
		d. 食と栄養
		e. 社会的特徴
	C. 予防接種	

目標Ⅱ. 正常からの逸脱を識別できるように必要な妊娠・分娩・産褥・新生児・乳幼児の異常に関する基礎的な知識を問う

大項目	中項目	小項目
16. 妊娠期の異常	A. 妊娠疾患	a. 妊娠悪阻
		b. 妊娠高血圧症候群
	B. 妊娠持続期間異常	a. 流産・切迫流産
		b. 頸管無力症
		c. 早産
		d. 過期妊娠
	C. 着床異常	a. 子宮外妊娠
		b. 前置胎盤
		c. 癒着胎盤
	D. 胎児性異常妊娠	a. 子宮内胎児死亡
		b. 子宮内発育遅延<IUGR, FGR>
		c. 血液型不適合妊娠
		d. 多胎妊娠
	E. 胎児付属物性異常妊娠	a. 前期破水
		b. 絨毛膜羊膜炎
		c. 羊水量の異常
		d. 常位胎盤早期剥離
		e. 絨毛性疾患
	F. 偶発疾患合併妊娠	a. 心疾患合併妊娠

大項目	中項目	小項目
		b. 呼吸器疾患合併妊娠
		c. 腎疾患合併妊娠
		d. 甲状腺疾患合併妊娠
		e. 糖尿病合併妊娠
		f. 子宮奇形・子宮筋腫合併妊娠
		g. 卵巣嚢腫合併妊娠
		h. アレルギー性疾患合併妊娠
		i. 精神疾患合併妊娠
		j. 悪性腫瘍合併妊娠
		G. 母子感染
	b. パルボウイルス	
	c. B型肝炎ウイルス	
	d. C型肝炎ウイルス	
	e. ヒト免疫不全ウイルス	
	f. 成人T細胞白血病ウイルス	
	g. 単純ヘルペスウイルス	
	h. 水痘ウイルス	
	i. クラミジア	
	j. トキソプラズマ	
	k. 梅毒トレポネーマ	
17. 分娩期の異常	A. 娩出力の異常	
	B. 産道の異常	
	C. 胎児の異常	a. 胎位の異常
		b. 回旋・進入の異常
		c. 胎児機能不全
		d. 多胎
		e. 奇形
	D. 胎児付属物の異常	a. 前期・遅滞破水
		b. 絨毛膜羊膜炎
		c. 臍帯巻絡
		d. 臍帯下垂・脱出
		e. 常位胎盤早期剥離
		f. 前置胎盤
	E. 胎児に起因する難産	a. 巨大児

大項目	中項目	小項目
		b. 肩甲難産
		c. 奇形児
	F. 児頭骨盤不均衡<CPD>	
	G. 遷延分娩	
	H. 軟産道損傷	a. 膣会陰裂傷
		b. 頸管裂傷
		c. 子宮破裂
	I. 弛緩出血	
	J. 産科ショック	a. 出血性ショック
		b. 羊水塞栓
		c. 播種性血管内凝固 <DIC>
		d. 敗血症性ショック
		e. トキシックショック症候群
f. 子宮内反症		
K. 子癇発作		
18. 産褥期の異常	A. 性器の異常	a. 子宮復古不全
		b. 胎盤ポリープ
		c. 晩期産褥出血
	B. 産褥期感染症	a. 産褥熱
		b. 尿路感染症
	C. 血栓・塞栓症	a. 産褥血栓性静脈炎
		b. 深部静脈血栓・肺塞栓症
	D. 乳房・乳腺異常	a. 乳腺炎
	E. 乳汁分泌異常	a. 乳汁分泌不全
		b. うつ乳
	F. 産褥期精神障害	a. マタニティブルーズ
		b. 産褥精神病
	G. 産褥後遺症	a. 妊娠高血圧症候群後遺症
		b. 産褥の心疾患
c. 糖尿病		
19. 新生児の異常	A. 新生児の異常徴候	a. 呼吸障害
		b. チアノーゼ
		c. 嘔吐
		d. 腹部膨満

大項目	中項目	小項目
		e. けいれん
		f. 発熱
		g. 黄疸
		h. 低体温
		i. 頭血腫
	B. 新生児の疾患	a. 新生児仮死
		b. 呼吸窮迫症候群<RDS>
		c. 胎便吸引症候群
		d. 高ビリルビン血症
		e. 新生児メレナ
		f. イレウス
		g. 新生児皮膚疾患
		h. 新生児眼疾患
		i. 外表奇形
j. 分娩外傷		
k. 感染症		
l. 脳性麻痺		
20. 低出生体重児・未熟児	A. 低出生体重児および未熟児の定義	a. 早産低出生体重児
	B. 低出生体重児の特徴	a. 外観
		b. 呼吸
		c. 循環
		d. 体温
		e. ビリルビン代謝
		f. 水分代謝および腎機能
		g. 血液
		h. 免疫
		i. 消化、吸収、代謝
	C. 低出生体重児に起こりやすい合併症	a. 呼吸窮迫症候群<RDS>
		b. 無呼吸発作
		c. 未熟児網膜症
		d. 脳室内出血
e. 脳室周囲白質軟化症		
f. 核黄疸		

大項目	中項目	小項目
		g. 壊死性腸炎
		h. 敗血症、髄膜炎
		i. 未熟児貧血
	D. 予後	a. 成長・発達
		b. 後遺症
		c. 死亡率
21. 乳幼児に起こりやすい疾患	A. 感染症	a. 麻疹
		b. 突発性発疹
		c. 手足口病
		d. 百日咳
		e. 溶血性連鎖球菌感染症
		f. カンジダ症
	B. 栄養障害	
C. 乳幼児突然死症候群 (SIDS)	a. リスク因子	
22. 母体、胎児の健康診査に必要な検査についての基礎知識	A. 尿検査	
	B. 血液検査	
	C. 超音波検査	a. 機器の使用法
		b. 超音波胎児計測
		c. 超音波血流計測
	D. 胎児陣痛心拍数測定による検査	a. 機器の使用法
		b. 陣痛の判読
		c. 胎児心拍の判読
		d. 妊娠期の評価：NST
		e. 分娩期の評価
	E. 包括的な胎児の健康状態の評価	a. バイオフィジカルプロファイルスコア
	F. 検体検査に必要な知識	a. 検体の採取方法
		b. 検体の取扱方法

【助産診断・技術学Ⅰ】

目標. 女性の一生を通しての性と生殖にかかわる健康問題について、相談・教育・援助技術の基礎的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目		
1. 相談・教育・援助活動の概念	A. 相談・教育・援助の基本	a. 対象理解		
		b. 問題解決プロセス		
		c. セルフケア		
		d. エンパワメント		
		e. 仲間づくり		
		f. カウンセリング		
2. 保健指導の技術個人	A. 個人指導の基本	a. 個人指導の特徴		
		b. 個人指導の段階		
		c. 教育的なかかわり		
		d. 相談的なかかわり		
		e. 教材・媒体の活用		
	B. 個人指導の技法	a. 家庭訪問の展開		
		b. 電話相談の展開		
		3. 保健指導の技術集団	A. 集団指導の基本	a. 集団指導の特徴
				b. 集団指導の段階
				c. 教育的なかかわり
d. 相談的なかかわり				
e. 助言的なかかわり				
f. 教材・媒体の活用				
B. 集団指導の技法	a. 集団指導の展開			
	b. 応用される討議法			
	C. 学級活動の実際	a. 母親学級		
		b. 両親学級		
c. 育児学級				
d. 婚前学級				
e. 性教育				
4. 健康教育の技術	A. 健康教育の基本	a. 健康教育のプロセス		

大項目	中項目	小項目
		b. 教育計画の基本
		c. 健康教育の展開
	B. 健康教育の技法	
5. 女性のライフサイクルにおける性と生殖に関する健康問題と援助	A. 思春期女性への援助	a. セックスアイデンティティ、ジェンダーアイデンティティの形成
		b. 性と生殖に関する健康教育
		c. 性行動に関する意思決定
		d. 性暴力被害の予防と支援
	B. 成熟期女性への援助	a. 性と生殖に関する健康教育
		b. 性、不妊へのカウンセリング
		c. 人工妊娠中絶へのカウンセリング
		d. 就労女性の労働衛生
		e. 性暴力被害の予防と支援
		f. 乳がん検診
		g. 子宮がん検診
	C. 更年期女性への援助	a. 健康増進への生活指導
		b. 自己コントロール能力の強化
		c. 不定愁訴への相談指導
		d. 閉経への指導
		e. 閉経後の性生活の指導
D. 老年期女性への援助	a. 身体的変化に伴う生活指導	
	b. 性生活の指導	
6. 家族計画	A. 家族計画に関する基礎的知識	a. 家族計画の意義
		b. 家族計画の必要性
		c. 家族計画の動向
		d. 受胎調節の推移
		e. 家族計画指導の問題点
	B. 家族計画指導の実施に必要な法的知識	a. 母子保健法
		b. 母体保護法
		c. 薬事法
	C. 各種受胎調節法	a. 基礎体温法
		b. コンドーム
		c. ペッサリー
		d. 膣錠

大項目	中項目	小項目
		e. ゼリー
		f. 経口避妊薬
		g. IUD
	D. 避妊法の指導に必要な基礎知識	a. 生活状況のアセスメント
		b. 定期検診
		c. パートナーを含む指導
		d. プライバシーの確保

【助産診断・技術学Ⅱ】

目標. 妊娠・分娩・産褥各期における女性の身体的、心理社会的状態について、正常経過とその逸脱を独自に判断でき、対象によりよい健康レベルへの援助を提供するために必要な基礎的知識を問う。

大項目	中項目	小項目
1. 基礎助産技術	A. 診察技術	a. 問診
		b. 視診
		c. 触診（乳房、腹部、レオポルド触診法、ザイツ法、頤部触診法、後会陰触診法）
		d. 聴診
		e. 内診・双合診
		f. 計測診（身体計測、骨盤計測、腹囲、子宮底長）
		g. 超音波による方法（超音波断層法、ドプラ法）
		h. 胎児心拍数図
	B. 援助技術	a. 生活行動援助技術
		b. 保健指導技術
		c. 診療の介補技術
	C. 緊急時の対応と応急処置	a. 緊急時使用物品と薬剤
		b. 止血法
		c. 会陰裂傷縫合術
		d. 蘇生法

大項目	中項目	小項目
		e. 出血性ショック時の処置
		f. 非出血性ショック時の処置
		g. 自動体外式除細動器 (AED)
		h. 異常出血に対する処置 (妊娠前半期、妊娠後半期、分娩時、播種性血管内凝固(DIC))
		i. 新生児の蘇生
		j. 産婦の心理的援助
	D. 助産所業務ガイドラインに基づく取扱基準	a. 母体搬送の適応とタイミング
		b. 新生児搬送の適応とタイミング
		c. 医療チームメンバーとの協働
		d. 他の医療機関との連携
2. 妊娠期の診断	A. 妊娠の診断	a. 問診
		b. 妊娠徴候となる身体的変化
		c. 基礎体温法
		d. 内診
		e. 免疫学的妊娠反応
		f. 超音波による方法
		g. 分娩予定日の算出と修正
		B. 妊娠経過の診断
	b. 体格評価 (BMI) ・体重増加	
	c. 血圧測定	
	d. 血液検査	
	e. 尿検査	
	f. マイナートラブル	
	C. 胎児の発育・健康状態の診断	a. 子宮底長・腹囲
		b. 胎位・胎向・胎勢
		c. 胎児心拍動・胎児心拍数図
		d. 胎盤付着部位
		e. 胎児胎盤機能検査
		f. 羊水量
	D. 妊婦の健康生活の診断	a. 日常生活行動の変化
	E. 妊婦の心理社会的側	a. 妊娠の受容

大項目	中項目	小項目	
	面の診断	b. 情緒の変化	
		c. 不安や問題への対処行動	
		d. ボディ・イメージの変化	
		e. 母性意識・母親役割意識	
		f. 家族の妊娠への適応と家族関係・支援状況	
		g. 父性意識・父親役割意識	
		h. 家族以外のソーシャルサポート	
3. 正常経過にある妊婦への援助		A. 日常生活適応へのケア	a. 妊娠期の栄養と食生活
	b. 口腔衛生		
	c. 排泄、排泄習慣		
	d. 睡眠、休息		
	e. 活動、運動		
	f. 身体の清潔		
	g. マイナートラブルへの対処		
	h. 衣服		
	i. 嗜好品		
	j. 性生活		
	B. 親になる準備へのケア		a. 出産・育児準備
			b. 親役割獲得への支援
		c. 新しい家族関係形成への支援	
		d. 母乳育児に向けた準備	
	C. 心理社会的ケア	a. 定期健康診査受診への支援	
		b. 社会資源の活用	
		c. 就労に伴う支援	
	4. 正常な妊娠経過からの逸脱およびハイリスク状態にある妊婦のアセスメントと援助	A. 身体的ハイリスク因子のアセスメント	a. 全身状態
			b. 妊娠・分娩歴、産科病歴
c. 既往歴、家族歴			
d. 合併症			
B. 心理社会的ハイリスク因子のアセスメント		a. 妊娠の受容	
		b. 過去の出産体験	
		c. 家族関係	

大項目	中項目	小項目
	C. 異常妊娠・ハイリスク妊婦へのケア	d. 婚姻
		e. 経済的状況
		a. 妊娠悪阻
		b. 切迫流産・早産
		c. 前期破水
		d. 妊娠高血圧症候群
		e. 妊娠貧血
		f. 妊娠糖尿病
		g. 前置胎盤
		h. 常位胎盤早期剥離
		i. 多胎妊娠
		j. 骨盤位
		k. 子宮内胎児死亡
		l. 若年妊娠
	m. 高齢妊娠	
	n. 帝王切開既往妊婦	
	D. 心理的問題をもつ妊婦へのケア	a. 妊娠の受け入れ困難
		b. 出産に対する不安
		c. 胎児との愛着形成困難
		d. 被虐待経験者
5. 分娩期の診断	A. 分娩開始の予知の診断	a. 子宮頸管成熟度
		b. 子宮収縮
		c. 自覚症状
	B. 分娩開始の診断	a. 陣痛発来
		b. 子宮頸管の変化
	C. 破水の診断	a. 自覚症状
		b. 検査法
		c. 腔鏡診・内診所見
		d. 羊水の性状
	D. 分娩経過の診断	a. 陣痛・腹圧
		b. 骨盤の大きさ
		c. 子宮頸管
		d. 腔・会陰の伸展性

大項目	中項目	小項目
		e. 胎児の大きさ
		f. 胎位、胎向、胎勢、回旋
		g. 胎児の下降度
		h. フリードマンの頸管開大曲線
		i. 児娩出時刻
		j. 分娩所要時間（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）
		k. 胎盤剥離徴候
		l. 児娩出後の出血
		m. 胎盤・卵膜の娩出状況
		n. 軟産道の裂傷
		o. 出血量
	E. 胎児の健康状態の診断	a. 胎児推定体重の算出
		b. 胎児の発育評価
		c. 胎児心拍陣痛図
		d. 羊水の量・性状
		e. 血液ガス分析
	F. 産婦の健康生活の診断	a. 全身状態
		b. 健康生活の変化
	G. 産婦の心理社会的側面の診断	a. 産婦の情動
		b. 産痛への対処行動
c. 家族の支援		
d. 家族の分娩への適応		
H. 出生直後の新生児の診断	a. アプガースコア	
	b. シルバーマンスコア	
	c. 外表奇形、特異な顔貌	
6. 正常経過にある産婦への援助	A. 援助の基本	a. 産婦の意思・主体性の尊重
		b. 産婦と家族中心のケア
		c. 心身の苦痛の緩和
		d. 正常逸脱の予防
	B. 分娩第1期のケア	a. 基本的欲求の充足
		b. 出産環境への配慮
		c. 家族とのコミュニケーション
		d. 産痛緩和

大項目	中項目	小項目
		e. 分娩進行の促進
		f. 家族への支援
	C. 分娩第2期・分娩第3期のケア	a. 基本的欲求の充足
		b. 呼吸法・リラクゼーションの誘導
		c. 必要時の努責誘導
		d. 出血量に応じた体位の調整
	D. 分娩後2時間までのケア	a. 出血・子宮復古状態の観察
		b. 基本的欲求の充足
		c. 母児の早期接触
		d. 母児と父・家族との対面
e. 産婦・家族の分娩体験の想起		
7. 正常分娩の介助	A. 分娩介助の原理	a. 分娩時の姿勢と分娩進行
		b. 分娩体位
		c. 呼吸法
		d. 努責の功罪と必要性
	B. 分娩介助時の技術	a. 導尿
		b. 肛門圧迫・保護
		c. 会陰保護
		d. 児頭娩出
		e. 肩甲娩出
		f. 軀幹娩出
		g. 臍帯切断、臍処置
		h. 胎盤娩出
	C. 胎盤の検査	a. 観察項目・観察方法
		b. 胎内環境の評価
	D. 出生後の新生児のケア	a. 呼吸の確立
		b. 全身の観察
		c. 身体計測
		d. 成熟度の判定
		e. 保温
		f. 点眼

大項目	中項目	小項目	
8. 正常な分娩経過からの逸脱およびハイリスク状態にある産婦のアセスメントと援助	A. 身体的ハイリスク因子のアセスメント	a. 全身状態	
		b. 妊娠・分娩歴、産科病歴	
		c. 娩出力	
		d. 産道	
		e. 胎児と胎児付属物	
		f. 胎児と骨盤の関係	
	B. 心理的ハイリスク因子のアセスメント	a. 妊娠の受容	
		b. 過去の出産体験	
		c. 出産に関する知識不足	
	C. 援助の基本	a. 正常経過からの逸脱のリスクの評価	
		b. 正常経過からの逸脱の予防	
		c. 緊急事態の予測と予期的対応	
d. 正常経過からの逸脱の早期発見			
9. 異常分娩	A. 異常分娩時の産婦へのケア	a. 娩出力の異常(分娩誘発・促進時の管理を含む)	
		b. 産道の異常	
		c. 胎位・胎勢の異常	
		d. 進入・回旋の異常	
		e. 前期破水	
		f. 遷延分娩	
		g. 肩甲難産	
		h. 胎児機能不全	
		i. 胎児付属物の異常	
		j. 弛緩出血	
		k. 子宮破裂・子宮内反・頸管裂傷、 腔・会陰裂傷	
		l. 多胎分娩	
		m. 奇形児分娩	
		n. 子癇	
		o. 羊水塞栓	
		p. 播種性血管内凝固<DIC>	
		B. 産科手術および産科的医療処置	a. 産科手術の適応と要約
			b. 産科手術の準備

大項目	中項目	小項目
		c. 術後の管理
		d. 会陰切開術
		e. 会陰縫合術
		f. 産科麻酔（硬膜外麻酔）
		g. 腹式帝王切開術
		h. 分娩誘発・促進法
		i. クリステレル胎児圧出法
		j. 骨盤位牽出術
		k. 吸引遂娩術
		l. 鉗子遂娩術
		m. 胎盤圧出法、用手剥離
		n. 子宮摘出術
		10. 産褥期の診断
b. 子宮と付属器の復古状態		
c. 膣、外陰、肛門		
d. 血液検査		
e. 尿検査		
f. 不快症状		
B. 褥婦の健康生活の診断	a. 栄養と食事	
	b. 睡眠・休息	
	c. 活動・運動	
	d. 排泄	
	e. 清潔行動	
	f. 日常生活への適応	
	g. 家族計画	
C. 心理社会的側面の診断	a. 出産体験の受容	
	b. 親役割の獲得	
	c. 家族の役割獲得と家族関係	
	d. 居住地の育児環境	
	e. 褥婦の心理に影響を及ぼす要因	
D. 育児能力の診断	a. 児の受容	
	b. 親と子の愛着形成	

大項目	中項目	小項目	
		c. 育児技術の習得	
		d. 育児不安と対処行動	
		e. 母親役割、父親役割の取得	
	E. 母乳育児に関する診断	a. 乳房	
		b. 乳汁分泌	
		c. 児の吸啜	
		d. 授乳技術とセルフケア能力	
	11. 正常経過にある褥婦と家族への援助	A. 日常生活への適応ならびに退行性変化促進へのケア	a. 産褥期の栄養と食生活
			b. 排泄、排泄行動
			c. 睡眠、休息
d. 活動・運動			
e. 清潔行動			
f. 日常生活の行動拡大			
g. 子宮底輪状マッサージ法			
h. 産褥体操			
i. 家族計画、性生活指導			
j. 職場復帰への支援			
B. 母乳育児へのケア		a. 母乳栄養に関する母親の意識	
		b. 母乳分泌促進法・抑制法	
		c. 乳房トラブルの予防	
		d. 乳房自己管理法	
		e. 哺乳量の評価	
		f. 母乳育児と社会資源	
C. 心理社会的側面へのケア		a. 生活の調整	
		b. 家族関係の調整	
		c. 出生にかかわる届出の指導	
		d. 社会資源の活用	
D. 育児行動取得へのケア	a. 母親・父親役割獲得への援助		
	b. 育児技術の指導		
	c. 育児環境の調整		